



平成 28 年 2 月 19 日

各 位

会 社 名 アジアグロースキャピタル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号 6993 東証第2部)
 問合せ先 総務部長 岩瀬 茂雄
 (TEL. 03-3448-7300)

(訂正・数値データ訂正)

「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 28 年 2 月 12 日付で公表しました「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正します。

なお、訂正箇所につきましては、下線を付しております。

記

1. 訂正の内容

①サマリ情報 1 頁

1. 平成 28 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(訂正前)

<前略>

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 192百万円 (△73.7%) 27年3月期第3四半期 729百万円 (65.0%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	3.18	<u>3.01</u>
27年3月期第3四半期	5.28	5.27

(訂正後)

<前略>

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 190百万円 (△73.8%) 27年3月期第3四半期 729百万円 (65.0%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	3.18	<u>3.16</u>
27年3月期第3四半期	5.28	5.27

②サマリ情報 1頁

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（訂正前）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,894	11.0	2,077	△16.9	1,420	△30.8	434	△37.8	5.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

（訂正後）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,894	21.2	2,077	△17.0	1,420	△30.8	434	△37.8	5.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

③添付資料 3頁

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

（訂正前）

<前略>

セグメント業績は、次のとおりです。

①質屋、古物売買業

上述のとおり、平成27年10月30日において、DGHは、英国の個人向け質金融事業会社であるSFLグループを買収し完全子会社化しており、これに伴い、SFLグループは当社連結子会社となっております。この結果、SFLグループの業績の内、質屋、古物売買業に帰属する売上高1,249百万円、営業利益172百万円は、質屋、古物売買業の業績の増加要因となっております。

<後略>

（訂正後）

<前略>

セグメント業績は、次のとおりです。

①質屋、古物売買業

上述のとおり、平成27年10月30日において、DGHは、英国の個人向け質金融事業会社であるSFLグループを買収し完全子会社化しており、これに伴い、SFLグループは当社連結子会社となっております。この結果、SFLグループの業績の内、質屋、古物売買業に帰属する売上高1,249百万円、営業利益158百万円は、質屋、古物売買業の業績の増加要因となっております。

<後略>

④添付資料 3頁

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

(訂正前)

<前略>

(資産)

<中略>

この結果、総資産は、18,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,169百万円増加いたしました。

<中略>

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、6,740百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円の増加となりました。これは主に本DESに伴う資本剰余金の162百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益248百万円の計上並びに為替換算調整勘定の170百万円及び非支配株主持分の55百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、28.7%（前連結会計年度末は40.8%）となりました。

(訂正後)

<前略>

(資産)

<中略>

この結果、総資産は、18,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,170百万円増加いたしました。

<中略>

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、6,740百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円の増加となりました。これは主に本DESに伴う資本剰余金の168百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益248百万円の計上並びに為替換算調整勘定の170百万円及び非支配株主持分の55百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、28.7%（前連結会計年度末は40.8%）となりました。

⑤添付資料 8 頁

3. 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	722,961	429,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,166	134
為替換算調整勘定	-	<u>△237,093</u>
その他の包括利益合計	6,166	<u>△236,959</u>
四半期包括利益	729,127	<u>192,075</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	411,919	<u>79,213</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	317,208	<u>112,862</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	722,961	429,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,166	134
為替換算調整勘定	-	<u>△238,360</u>
その他の包括利益合計	6,166	<u>△238,225</u>
四半期包括利益	729,127	<u>190,809</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	411,919	<u>78,307</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	317,208	<u>112,501</u>

⑥添付資料 9頁

3. 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(訂正前)

<前略>

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が 162,023 千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が 1,448,253 千円となっております。

(訂正後)

<前略>

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が 168,417 千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が 1,454,647 千円となっております。

⑦添付資料 11頁

3. 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

事業の種類別セグメント情報

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

(訂正前)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

<中略>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、不動産賃貸業及びその他金融サービス業を含んでおります。

<中略>

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、AU 79 LIMITEDの株式を取得し、同社及びその完全子会社計4社を新たに連結子会社としたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の「質屋、古物売買業事業」報告セグメントの資産の金額は、6,141,691 千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「質屋、古物売買業」セグメントにおいてAU 79 LIMITED及びその完全子会社計4社の全株式を取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、675,507 千円であります。

(訂正後)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

<中略>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業及び不動産賃貸業を含んでおります。

<中略>

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、AU 79 LIMITEDの株式を取得し、同社及びその完全子会社計4社を新たに連結子会社としたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の「質屋、古物売買業」報告セグメントの資産の金額は、6,089,526千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「質屋、古物売買業」セグメントにおいてAU 79 LIMITED及びその完全子会社計4社の全株式を取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、708,959千円であります。

⑧添付資料 11頁

3. 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【所在地別セグメント情報】

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(訂正前)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	日本	欧州		
売上高				
外部顧客への売上高	13,676,790	1,249,135	—	14,925,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	<u>△23,132</u>	<u>23,132</u>	—	0
計	<u>13,653,657</u>	<u>1,272,268</u>	—	14,925,925
セグメント利益	<u>1,731,636</u>	<u>196,031</u>	<u>△272,997</u>	1,654,670

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいてAU 79 LIMITED及びその完全子会社計4社の全株式を取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、675,507千円であります。

(訂正後)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益
	日本	欧州			計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	13,676,790	1,249,135	14,925,925	二	14,925,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,132	二	23,132	△23,132	0
計	13,699,923	1,249,135	14,949,058	△23,132	14,925,925
セグメント利益又は損 失(△)	1,777,902	158,542	1,936,445	△281,774	1,654,670

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△281,774千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△272,997千円及びセグメント間取引消去△8,777千円であります。各報告セグメントに配分していない全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいてAU 79 LIMITED及びその完全子会社計4社の全株式を取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、708,959千円であります。

2. 訂正の理由

「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に、記載の誤りがあることが判明したため訂正するものであります。

以上